

比企の歴史まるわかり！9市町村広報リレー

現在放送中の「青天を衝け」に次ぐ、来年の大河ドラマは「鎌倉殿の13人」と発表されました。大河ドラマをきっかけとした地域活性化を図るため、9市町村（東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村）を中心に、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会を設立しました。

協議会では、9市町村にある史跡や「鎌倉殿の13人」にゆかりのある人物等をまとめた、比企の歴史リーフレットを作成し、県内外の方に広くPRしていくほか、それぞれの広報誌で同じ記事を掲載し、比企の魅力を発信していきます。

自治体広報のリレー今後の予定！

令和3年		令和4年	
9月号	滑川町	1月号	川島町
10月号	東松山市	2月号	吉見町
11月号	嵐山町	3月号	鳩山町
12月号	小川町	4月号	ときがわ町
		5月号	東秩父村

滑川町版

比企9市町村にはそれぞれ魅力ある史跡や観光スポットがあります。

毎月1市町村ずつ特集をして比企の魅力を余すことなくお伝えします。

記念すべきスタートは、「滑川町」です。



マスコットキャラクター
ターナちゃん

滑川町には三門館跡がある



三門館跡は和泉にある泉福寺より東に約200mの位置にあります。この館跡は発掘調査などが行われていないため詳細はわかりませんが、源頼朝の父である義朝などに仕えた比企遠宗の館ではないかとする説があります。

館跡は、北西と南東に2つの丘陵があり、その間の四方約200mの範囲が館の敷地であったとされています。北西・南東の丘陵上、北東の谷部の3方を空堀と土塁で囲っていたとされ、現在はその一部の空堀と土塁が残っています。特に北西側の空堀は良く残っており、丘陵上を南北に180m延び、東へ折れ50m程で丘陵裾まで達しておりこの部分がかつては南東の空堀までつながっていたとみられます。

源頼朝は滑川産の米を食べていた？

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で登場するのが比企遠宗の妻の比企尼と比企尼の養子で比企氏の家督を継いだ比企能員です。比企尼は頼朝が産まれた際に乳母を務め、平治の乱（1159年）で源氏が平氏に敗れ、頼朝が伊豆に配流^{はいる}になってから、平家打倒のため挙兵するまでの約20年にわたり米などを送り一切の面倒を見たと言われ、その米がこの館近辺から送られていたのではないかとする説もあります。

滑川町には古くから大小200ものため池があり、沼の水を使った米づくりが昔から盛んに行われてきました。里山に包まれた冷たい沼水と、昼夜の寒暖差の大きい谷津で作る米は、滑川町特有の粘土質の土壌と相まって、大変おいしいお米と評判です。頼朝もこの「谷津田米」に舌づつみを打ったのでしょうか。



問 滑川町総務政策課 企画調整担当 ☎0493-56-6910

次回は、鎌倉時代の史跡が多くある「東松山市」です。